

区のお知らせ

足立区
企画室
TEL(882)1111

42年度の予算は、当初と一般会計補正1号を含めて総額93億3千73万8千円で発足しましたが、都区財政調整交付金も決まりましたので、第一次補正が行なわれ、6月定例区議会で議決されました。この補正によって区の42年度予算は一般会計92億3千162万8千円、国民健康保険特別会計16億1千285万8千円、総額108億4千448万6千円となりました。このうち、みなさんの生活に最も関係の深い

一般会計予算は、昨年度に引き続き「生活環境の整備」「青少年の健全育成」「社会福祉の充実」を区政3本の柱とした重点施策と、これに伴う行政施設建設5カ年計画の事業を中心に編成しました。さらにもう一つの大きな特色は、学校施設の充実や教育費私費負担の解消など、よりよい教育態勢の確立に積極的な予算を組んだことです。それでは、予算をとおして、今年度の区の仕事をみてみましょう。

明るく住みよい町づくり 予算総額108億4千万円

建設5カ年計画の事業を中心に編成しました。さらにもう一つの大きな特色は、学校施設の充実や教育費

一般会計

歳入

足立区の一般会計歳入予算の特徴は、右の図表に示すように特別区交付金が多いことです。特別区交付金というのは、東京都が23区において財政上の均衡を図るため行なうもので、区税収入見込み額が、財政需要見込み額（支出）を上回る区は納付金を納め、その反対の区には交付金を交付することになっています。これによって都と区、特別区相互間の財政調整を行なうものです。足立区はこの特別区交付金を23区の中で一番多く受けており、歳入の41%を占めています。特別区税は、いわゆる区民税・軽自動車税・たばこ消費税・電気ガス税等の税収入を合わせたものをいいます。国庫支出金・都支出金は、国や都から、民生・教育関係など、使いみちを定めて、負担金とか補

助金・委託金として交付されます。その他、諸取入・使用料及び手数料・特別区債・財産収入等が歳入としてはあります。

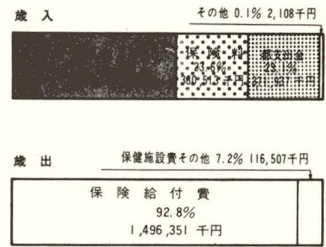


歳出

歳出は昨年度に引き続き、社会福祉・生活保護・交通安全運動・環境衛生などの民生費が1位を占めています。これは、生活保護費が23区中で一番多く、その保護費に民生費の63%があてられて

国保特別会計

昨年度まで特別会計は、国民健康保険と質屋事業の2つありましたが、今年度から公益質屋貸付基金をつくりましたので質屋事業特別会計は廃止になりました。国民健康保険特別会計は、6月の補正を入れて16億1千285万8千円が計上されました。これは、昨年度と比べ22%増になっています。その内容は下の図表のとおりです。

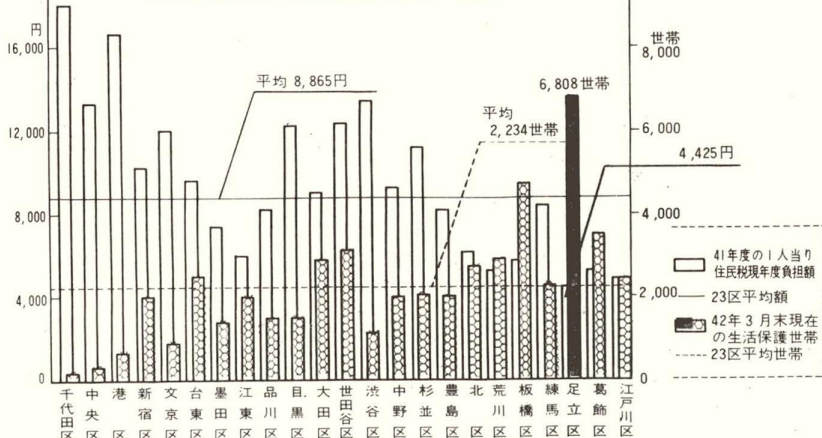


いるためです。次に多い教育費は、教育施設の充実とか社会教育、特に教育の私費負担を解消するため、これに関連した予算に昨年度の2倍をこえ

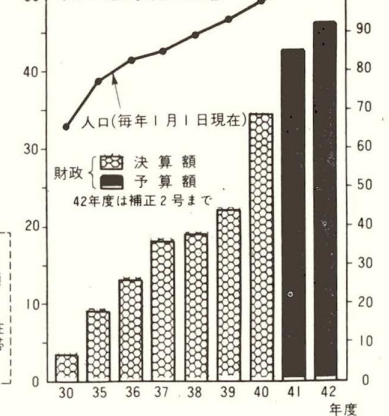


る額を投入しました。また、次の土木費については昨年度より14%多い額を計上し、道路や河川、公園、区画整理事業などの費用にあてています。このほか、商・工・農業振興の産業経済費や議会費などを組んでいます。

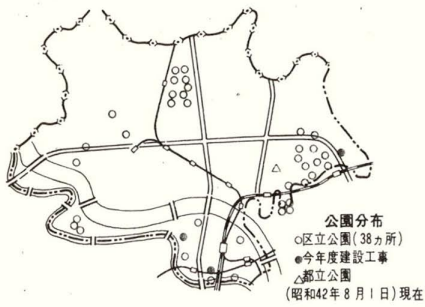
23区の住民税負担額と生活保護の状況



人口と財政の推移



生活環境の整備



交通安全対策

交通事故の激増に対し、まず学童の安全を第一に考え3千300万円を計上して、ガードレール（7千100m）の増設や通学路を整備、また学童交通擁護員（みどりのおばさん）を21名増員して通学時の学童の交通事故防止を図っています。

また町会・自治会を中心に町ぐるみの交通安全運動と献血運動を行なうため、これに600万円をあてました。

新生活運動の推進

生活学校を地域ごとに開校（延べ72校）して、生活指導を行ない、また町のいっせい清掃など日常生活の改善に300万円見込みました。

保健衛生対策

バキュームダンパーによる側溝清掃に（延べ1千938台）公衆ゴミ容器、吸がら入れの整備と収集などの環境整備に2千万円、カ・ハエ・アメリカシ

ロヒトリなどの害虫とねずみの駆除に2千800万円を投じました。

道路、橋の維持改良

竹の塚二丁目・伊興町吉浜地先など6か所の道路の新設と拡幅に1億7千800万円、千住五丁目など15か所の路面補修1万4千㎡に2億4千700万円、道路・橋の維持修繕に2億3千900万円をあて、新らしい市街地形成の重要な事業として積極的に推進しています。

公共溝渠の維持・改良

雨水や汚水の排水に欠かせない公共溝渠（こうきょ）については、本木南町など25か所6千400mを改良し、また保木間堀など11か所1万7千600mの浚渫（しゅんせつ）・補修等を行なうため3億9千400万円をあてました。

街路燈の新設

町の照明と犯罪防止などたいせつな役割を持つ街路燈を6千万円の予算で1,700灯新設します。これで区的全街路燈数は8,685灯になります。

公園の新設改良

本年度は3か所の公園新設費として500万円組みました。このうち大谷田南公園は本年度内に完成の予定で、他の2か所は堤南地区の千住仲町、千住桜木町に建設の計画が進めています。また北千住公園など6か所の既設公園に対しても2千300万円を投じ、施設内容の充実と整備改良を行ないます。特に北千住公園には陸上競技場をつくらします。現在の開園数は、7月に区画整理組合から移管された11公園を合わせ38か所で、みなさんのいこいの場として利用されています。

青少年の健全育成

遊び場対策

児童の安全な遊び場として、中央本町四丁目など8か所の児童遊園と、少年野球場を北宮城など6か所に建設し、また既設の児童遊園に対しても改良整備するとともに遊具の充実など合わせて4千700万円を計上しました。このうち児童遊園は梅田三丁目など3か所が7月に開園しましたので、現在76か所になりました。このほか、学校開放校、（60校）に500万円をあてました。



図書館の充実

千住・梅島・宮城・新田の4図書館で4万4千冊の蔵書がありますが、さらにこれをふやすため、図書購入費として400万円を見込みました。

中央図書館（仮称）の建設

昭和42～43年度の2か年継続事業として、鉄筋4階建て、延べ2千900㎡という大規模な図書館建設計画（梅田七丁目13に建設）を進めています。総工費は約3億円の予定で、今年度は6千万円を予算化し、設計と基礎工事費をあてました。



建設中の東部区民福祉センター

社会福祉の充実

東部区民福祉センター・交通公園建設

昨年度から工費1億4千900万円、東綾瀬一丁目5-17に建設中の東部区民福祉センター（仮称）は、41年末に完成した中部区民福祉センターに続き、福祉事務所、保育園、出張所を併設する総合的区民福祉施設で、11月初旬には事務が開始される予定です。さらにここには遊びながら交通訓練が行なえる交通公園も2千800万円が建設します。

中央本町保育園（仮称）建設

この保育園建設のため3千900万円を計上しています。その規模は、鉄筋2階建て、延べ540㎡で120人保育できるものを考えています。これが完成すると区立保育園数は21か所になります。

足立福祉事務所の新築

木造2階建ての現足立福祉事務所（千住竜田町10）が老朽化したので千住柳町13に新築します。規模は鉄筋2階建て、建築面積600㎡、予算は3千900万円です。

産業振興館の改修

公会堂、展示会場、結婚式場など幅広く利用されていた産業振興館は、2千700万円が内部改修を行なっています。開館は10月の予定です。

建設進む鉄筋校舎・屋内体操場

教育施設の充実

本年度は学校施設の充実をはかるため、保木間小分校18教室を建設するとともに、既存の小学校124教室、中学校24教室の増改築をはじめ、千寿第六小など5校の屋内体操場、千寿第四小学校など6校の学校プール（すでに完成）、それに区立二中など6校の給食場を建設することになり、これらに10億5千900万円をあてました。

学校運営費私費負担の解消へ

これまで問題になっていた教育の私費負担の解消を図ります。これについてはまず学校運営の基準額を定めて、公費、私費の負担区分をはっきりさせ、公費で負担すべき経費として6億7千

万円を予算化しました。

教育内容の向上へ

視聴覚教育用のテレビは6か年計画で全校に設置してきましたが、本年度はその最終年次で、1年生用として245台を設置し、さらに親テレビなどの更新のために、1千500万円の予算を計上しました。これで小学校の全学級にテレビが配置されることになりました。

給食用等の備品充実

衛生的な給食を実施するため、3か年計画で熱風消毒保管庫・生牛乳保管庫などの充実を図り、また、給食当番用の白衣や、食器等の整備に2千600万円をつぎこむことになりました。

学校施設建設状況（昭和42年度末予定）

